

第11回 軽金属女性未来賞

軽金属女性未来賞は、軽金属分野において学術研究または技術開発に顕著な功績をあげ、将来の活躍が期待される女性研究者または女性技術者に贈る。



三原 麻未 君
(株式会社UACJ)

三原麻未君は、大学院学博士課程からアルミニウム合金の時効制御に関する研究に従事し、時効析出に伴う金属組織変化の機構等をナノレベルで評価して、新規的な知見を示してきた。特にAl-Mg-Cu合金の時効析出に対するAg添加の影響の成果は、海外の研究者からも注目され、高分解能透過型電子顕微鏡や陽電子消滅法に関して高度な技術を持つ海外の研究者と交流し、現地で研究に従事してきた経験を有している。これら業績は、論文、学会発表で報告されており、当該分野の研究者および技術者より高く評価を受けている。大学院修了後、株式会社UACJに入社し、研究経験を生かして、アルミニウム合金の金属組織や特性の制御に関する基礎研究に従事しており、集合組織形成メカニズムの解明などに力を注いでいる。また、軽金属学会の春秋講演大会や、軽金属学会主催の研究会、女性の会にも積極的に参加して研究発表や様々な意見交換を通じ、本学会への貢献度は大きいと考えられる。また、特筆すべきことは、学生時代より、日本女性技術者フォーラムおよび女性技術士の会に入会し、理工系女性研究者に関する活動を行って、国内外で働く女性研究者との積極的な交流を深めている。このことは、今後の軽金属学会や理系分野で働く社会において、女性の働き方や女性の活躍のロールモデルになるものと考えられる。

上記のように、同君の軽金属に関する研究並びに軽金属学会に対する取り組みと姿勢は、軽金属女性未来賞を受賞するにふさわしく、今後の活躍がさらに期待される。